



UCC上島珈琲株式会社

製造業
(飲料)

1933年創業のコーヒー製造会社。
直営農園で苗木を育てることから、生産国での農事調査、品質保証、原料調達、マーケティング、研究開発、製造から販売、さらには文化の創出に至るまで、世界唯一の栽培から販売まで一貫したコーヒー関連事業を展開している。



Every coffee, every moment

事業者概要 (2024年4月現在)
代表者 代表取締役社長 朝田文彦
所在地 兵庫県神戸市中央区港島中町7丁目7番7
電話番号
従業員数 802名 (2023年12月末時点)
主な事業内容
URL <https://www.ucc.co.jp/>

取組の背景

- コーヒーは農作物であり、地球環境と無関係ではいられない。地球温暖化の影響でコーヒー栽培適地が2050年までに半減するとも言われており、サステナビリティを重要視してきた。
- 2022年4月、UCCサステナビリティ指針を制定。
「自然を豊かにする手助けを」「人々を豊かにする手助けを」という2つの方向性のもとで目標を設定し、達成年度と達成内容を項目毎に定めている。

水素焙煎 # コーヒー # 教育 # 健康 # サステナブルなコーヒー調達

取組の内容

コーヒーで 自然を豊かにする手助けを

- **カーボンニュートラルに向けた取組み**
 - ①温室効果ガスの排出量が多い工場の製造工程で、バイオマスボイラーの導入、省エネ効果の高い焙煎機を設置。
 - ②全国各地の事業拠点、工場で使用する電力を再生可能エネルギー由来へ切り替える取組みの推進。
 - **ネイチャーポジティブアプローチ**
コーヒーを通じて生物多様性を保全するため、生産国でのプログラム策定・実践などを積極的に実施。
- 2030年までにスコープ1、2の温室効果ガス排出量を46%削減、2040年までにカーボンニュートラル&ネイチャーポジティブの実現を目指している。



コーヒー生産国での農事指導の様子

ートピックスー 水素焙煎コーヒーの取り組み

- **水素焙煎コーヒー**
コーヒー豆焙煎時の熱源を、化石燃料から水素燃料に代替する水素焙煎技術の開発。
＜特長＞
 - ①焙煎時のCO₂排出ゼロを実現
 - ②水素と化石燃料両方の熱源で焙煎可能
 - ③従来熱源と同等の味覚の再現性
(さらに水素ならではの優位差について研究中)
 - **水素社会の認知向上を目指したプロジェクト**
 - ・水素社会に関する意識調査の実施。
 - ・イベント等で水素焙煎コーヒーを提供し、認知向上を図る。
- 製造工程において温室効果ガス排出量が多い焙煎時のCO₂排出量削減を目指している。
2025年4月、UCC富士工場に導入予定。



環境とおいしさを両立する水素焙煎コーヒー

コーヒーで 人々を豊かにする手助けを

- **100%サステナブルなコーヒー調達**
「地球」「人」「製品」3つのサステナブル要素をもとに持続可能な調達方法を検討。2030年までに自社ブランドを100%サステナブルなコーヒー調達とする目標。
- **コーヒー×教育**
コーヒーはSDGsの縮図。コーヒー製造のプロセスに存在する課題を題材に、コーヒーを通じてSDGsを考えてもらうセミナー等を開催。
- **コーヒー×健康**
コーヒーで人々の健康に貢献することを目指し、健康効果に関する基礎研究、健康価値の高いコーヒー製品を開発、販売。



コーヒーで世界中の人々の健康に貢献